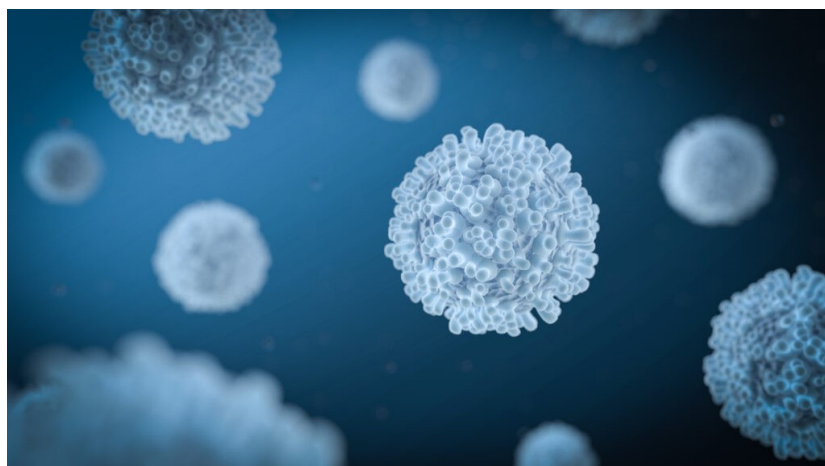


精液検査における白血球とpH検査の必要性



白血球数増加は妊娠効果を低下させます。

男性生殖器の慢性的な炎症状態は、男性不妊症の原因として一つの重要なファクターと言われています。精液中サンプルにおける白血球数の確認は、男性生殖器の炎症や感染の可能性のある患者を特定するのに役立ちます。

WHO（世界保健機関）の2021年版マニュアルによると、精液中の過剰な白血球数は、感染、精子の質の低下、運動能力の低下と関連する可能性があると言われています。白血球の診断は、男性側の妊娠効果の評価において有用な所見であり、また男性における感染者約50%が無症状と言われているクラミジアや淋病などに対しても、抗生物質の効果により精液のパラメータと妊娠効果が改善される場合があります。

精子pHの影響

精液のpHは、運動性及び精子数に影響を与える為、適正な範囲内に保つことにより、精子の正常な機能が確保できると言われています。一般的に高いpH（>8.0）は感染と関連していることが多く、低いpH（<7.2）は精囊の閉塞のサインである可能性があります。よって不妊原因の一つとしてpHの評価を行うことで、特定の男性因子の診断と治療に役立つ可能性があります。

精子の精液検査用クイックチェックWBC/pHテスト試験紙（FDA承認済み）を使用することで簡単に検査が行えます。

精液検査に白血球とpHのテストを含めることで、不妊原因の可能性をより追及することができます。また、無症候性の感染や炎症の治療は、精子の質と全体的な生殖能力を改善し妊娠率を向上させる効果があるとされています。

